

—今年度の成果と反省点—

褥瘡対策マニュアルとして医療機器関連圧迫創傷に関連したマニュアルの作成ができた。全国平均値や前年度の結果と比べると褥瘡推定発生率、褥瘡推定有病率ともに増加している。今後は、褥瘡を有している患者だけでなく、褥瘡発生リスクの高い患者に対しても褥瘡予防ケアなどが適切に実施できているか確認を行い、病棟へのケアの提案などが必要だと考える。

—来年度への抱負—

褥瘡、MDRPU、スキンテアなどに関連した基本的な治療やケアについて知識・技術を習得できるように研修会の開催をしたいと考えている。褥瘡回診と皮膚・排泄ケア認定看護師のラウンドを連携し、褥瘡推定発生率や褥瘡持ち帰りを軽減できるように活動を行っていききたい。また、持ち込み褥瘡の軽減が図れるように地域との連携を図っていききたい。

